

令和5年度事業報告

I 法人本部・管理部

1 理事会・評議員会

第124回理事会は前年度(令和4年度)の事業報告、決算報告、次期役員候補者の推薦、就業規則の改訂、公印管理規程・個人情報保護及び取扱規程の制定、定時評議員会の開催などを承認した。第125回理事会は理事長選任を承認した。第126回理事会は令和5年度上半期事業報告、就業規則・給与および退職金規程・経理規程改訂などを承認した。第127回理事会は令和6年度事業計画および収支予算、就業規則等の改訂、一部役員の退任と新役員候補者の推薦、および令和6年度人事異動に伴う施設長の選任が承認された。また、令和5年10月からのパートタイム就業規則改訂については、9月6日に理事全員の書面による同意があり、理事会の議決があったものと見なされ承認された。

第7回定時評議員会では前年度(令和4年度)決算および役員改選が承認された。また、令和6年4月からの新役員の選任については、3月20日に評議員全員の書面による同意があり、評議員会の議決があったものと見なされ承認された。

[理事会]	第124回理事会(令和5年度第1回)	令和5年6月1日
	第125回理事会(令和5年度第2回)	令和5年6月22日
	第126回理事会(令和5年度第3回)	令和5年11月16日
	第127回理事会(令和5年度第4回)	令和6年3月14日
[評議員会]	第7回定時評議員会	令和5年6月23日

2 運営概況

(1) 法人経営

部長会議、経営会議は概ね毎月3回定期的に開催して政策形成ならびに運営方針を検討し、迅速な意思決定による事業執行を行った。次課長級による運営会議は毎月1回開催した。経営課題を検討するため8つの部会(中長期計画委員会、高齢化対策部会、リクルート部会、勤務体制検討プロジェクトチーム、メンタル対策部会、lon1プロジェクトチーム、研修委員会、組織検討プロジェクトチーム)を設け、管理監督職(一般職員も一部参加)を中心に検討を進めてきた。今年度からは部会の整理をおこない、中長期計画、高齢化対策、リクルート、メンタルヘルス推進、lon1、研修の6つの委員会にて検討を進めることとした。

(2) 新型コロナウイルス対応

5月から新型コロナウイルスの感染法上の取扱いが2類から5類に変更になったことを受け、行政から示された高齢者施設等(障害福祉サービス事業所等含む)の療養期間の考え方に従って就業制限や労務上の取り扱いを変更した。感染者は断続的・散発的に発生していたが施設内感染が広まる状況も見られ、上半期には「ポルト能見台」など一部の通所事業所で短期間休業した。下半期には北部方面の事業所で感染者の拡大がみられたが、年明け以降は散発的な感染がみられる程度であった。利用者のワクチン接種は8月に施設接種を実施した。

(3) 人事労務

令和5年度は正職員の新採用者は11名、退職者は13名、育児休業取得者は6名、育児休業からの復職者は5名、私傷病による療養休業者・休職者が9名、復職者は6名であった。そのため、新年度当初から発生していた配置予定人員に対し欠員状態が続いた。今春新卒者を5名採用したが欠員状態は解消できていない。

(4) 収支状況

令和5年度予算では約246万円の黒字を見込んでいたが、最終的には約2,069万円の赤字決算となった。

障害福祉事業収入は、居宅介護事業の実績増、物価高騰対策支援金および処遇改善臨時交付金による収入増があった一方、「ポルト能見台」・「ワークアシスト」および短

期入所事業の実績減、過年度分過誤調整による収入減もあり、約 7,500 万円の収入増となった。また、地域ケアプラザ事業収入は居宅介護支援事業の実績増と委託事業の修繕費追加により約 440 万円の収入増だった。その他、相談支援事業委託費消費税分追加支給や寄付金収入があり、全体では約 10,445 万円の収入増となった。

一方、支出面では人件費の見込み違い、居宅介護実績増に伴うパート職員稼働実績増、処遇改善による人件費増が約 7,800 万円だった。その他土地賃借料未払分、相談支援事業委託費消費税等租税公課の支出増等により、全体で約 12,760 万円の支出増があり、収支差額は約 2,315 万円悪化した。

***第2号議案にて詳細説明**

(5) 行政指導関係

令和5年9月8日「東やまたレジデンス」に対する実地指導が行われ、文書指摘はなかったが、口頭指摘事項9項目については改善を行った。令和6年1月11日「ヘルパーセンターやまびこ」に対する実地指導が行われ、文書指摘が3項目あったため、いずれも改善を行った。

また、令和6年2月に横浜市より「東やまたレジデンス」での不適切な支援4件について虐待認定があり、「ポルト能見台」の不適切な支援について身体拘束廃止・適正化違反の指摘(その後3月に虐待認定)があり、発生状況の確認や再発防止のための改善策の検討し、「虐待事案の調査内容・再発防止策報告書」を横浜市に提出した。あわせて、関係職員の処分を行った。

3 事業概況

(1) 事業関係

障害福祉サービスは通常どおりのサービスを提供したが、上半期・下半期にそれぞれ1回新型コロナウイルスの感染拡大がみられ、一部の事業所で短期間休業した。施設利用者の日帰りや宿泊旅行の余暇支援は4年ぶりに再開することができた。ヘルパーセンターの外出系サービス、相談支援および就労支援、地域ケアプラザは感染防止策を講じながら通常のサービスを提供した。

(2) 施設整備関係

令和6年3月にグループホーム「ハウス BEE」および「ハウス DOUX」を予定通り新築物件への移転を行った。建物の老朽化による「まるんワークス」、家賃の大幅改定を求められている「ワークアシスト」は、東山田町に新築の賃貸物件を建設してもらい移転する準備を進めたが、関係機関の手続きの遅延もあり、移転については令和7年8月となる見込みている。年度当初予定がなかった「東やまたレジデンス・東山田地域ケアプラザ」の消防設備(音響装置)の更新工事、換気設備更新工事を実施した。現在休止中である「東山田地域ケアプラザ」通所介護事業が使用していた「ダイルーム」は、「東やまたレジデンス」生活介護事業の事業場として令和6年度中に事業転換する方向で行政と協議がまとまった。

***第2号議案にて詳細説明**

(3) 苦情・事故事件関係

昨年度末に「東やまたレジデンス」利用者の家族から支援のあり方をめぐって横浜市福祉調整委員会への申立てがあった。福祉調整委員会による調査が行われ、改善の申入れがあった。法人として申入れ内容に沿って対応を進めてきた。家族からの申立ての中に虐待事案も含まれていたため、横浜市虐待防止センターによる聞き取り調査も実施され、過去の支援も含め横浜市から4件の虐待認定があった。また、「ポルト能見台」の利用者の対応時に痣ができた事案について、横浜市から身体拘束廃止・適正化違反の指摘と虐待認定があり、家族への謝罪および行動改善計画の同意を得た。

苦情解決事業報告会を令和5年10月26日開催し、令和4年度の苦情・ヒヤリハットおよび事故報告を行った。

(4) 虐待防止関係

虐待防止委員会(身体拘束適正化委員会)は年2回の定期開催をすることとし、令和5年6月15日、11月27日に開催し研修実施状況報告、事案報告と改善検討を行った。また、横浜市からの虐待認定事案の発生に伴い、令和6年3月8日臨時委員会を開催し、事案の検証および改善策の検討を行った。

障害福祉部

施設支援1課

「東やまた工房」

1 事業概況

生活介護(定員38名)、短期入所(定員1名)、日中一時支援(定員1名)を提供した。日中活動は受注作業を実施した。次長(管理者・サービス管理責任者兼務)、係長、主任(2名)を配置した。近隣のスポーツ会館の清掃ボランティア活動を継続した。新型コロナウイルスの取り扱いが緩和されたため、余暇活動は5つのグループによる日帰りレクリエーションを再開した。個別の配慮が必要な利用者には外食、プール、カラオケなどの余暇活動を提供した。感染症への防止策として定期的な消毒や換気を実施し体調不良がみられた場合は通院を行った。社会福祉士実習として2名の学生を受け入れた。

2 事業実績

(1)生活介護事業(定員38名・現員38名)

①利用者概況(令和6年3月31日現在)

(ア)障害程度区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	1	7	10	18
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	1	3	7	11
	女	0	0	0	0	0	2	2	4
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	1	1	2	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	3	11	19	33
	女	0	0	0	0	0	2	3	5

(イ)年齢別状況

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	0	2	6	11	14	33	46歳1ヶ月
女性	0	0	0	2	3	5	49歳2ヶ月
計	0	2	6	13	17	38	46歳6ヶ月

(ロ)利用期間状況

	～1年	1年～ 3年	3年～ 5年	5年～ 10年	10年～ 15年	15年 ～	計	1人当たり 平均入所期間
男	0	0	0	2	5	26	33	19年11ヶ月
女	0	0	0	1	0	4	5	19年2ヶ月
計	0	0	0	3	5	30	38	19年10ヶ月

(e)長期入院等状況

状 況	人数
1 か月以上 3 か月未満の継続入院者	0
3 か月以上の継続入院者	0
1 か月以上 3 か月未満の継続帰宅者	0
3 か月以上の継続帰宅者	0

(f)利用方法状況

自 力	6
保護者迎	5
送迎バス	4
そ の 他	23
計	38

(g)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	20	20	22	20	18	20	21	20	20	18	19	20
平均通所日数	19.3	19.3	20.8	18.5	17.4	19.0	19.4	19.2	17.7	17.3	18.4	19.4

(h)入退所状況 なし

(2)短期入所事業(定数: 1名)

①利用状況 (宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15	16	16	18	12	16	14	15	15	13	9	17	176

②障害程度区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合 計
男性	0	0	0	1	1	9	11
女性	0	0	0	0	0	0	0

③年齢別状況(実数)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	合 計
男性	0	3	3	5	11
女性	0	0	0	0	0

(3)日中一時支援事業(定数: 1名) 利用者数 3名 利用実績 5日

3 支援状況

(1)日中活動

ケアプラザ広報物や地域情報誌のポスティング、電子部品の組立て・解体、宅配寿司出前セット作り等の受注作業を実施した。ステッパーや踏み台を使った軽運動や少人数による運動プログラムを実施した。

(2)生活支援

近隣のコンビニエンスストアでの買物、飲食等の外出支援を実施した。

(3)新型コロナウイルス感染状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	0	0	0	0	1	8	0	9	0	0	0
職 員	0	0	0	1	0	1	1	0	2	1	0	0

(4)その他

検温チェック、マスク着用の支援、手洗いや手指消毒などの対応を継続した。健康診断を実施した。協力医療機関の小林クリニックの協力を得て新型コロナウイルスのワクチン接種を実施した。健康管理として月1回の体重測定等を実施した。

4 苦情解決事業 なし

施設支援 2課

「東やまたレジデンス」

1 事業概況

生活介護(定員 50名)、施設入所支援(定員 40名)、短期入所(定員 3名)、日中一時支

援(定員2名)を提供した。3係体制のもと日中支援部門と生活(夜間)支援部門が連携して支援を行った。新型コロナウイルスに関する取扱いの変更もあり、感染予防を継続しながら活動を少しずつ以前の状況に戻している。入所利用者が4月に虚血性心疾患により死亡した。8月に入所支援事業で新規利用者を1名受入れた。見学や実習は感染予防対策を徹底した上で受け入れた。

2 事業実績

(1) 生活介護事業(定員50名・現員50名)

①利用者概況(令和6年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	0	1	32	33
	女	0	0	0	0	0	1	5	6
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	0	3	4	7
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	男	0	0	0	0	0	4	37	41
	女	0	0	0	0	0	2	7	9

(イ)年齢別状況

年齢	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男性	0	1	3	17	20	41	48歳8か月
女性	0	0	2	3	4	9	47歳4か月
計	0	1	5	20	24	50	48歳0か月

(ウ)利用期間状況

期間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～15	15年～	計	平均期間
男性	0	0	0	1	6	34	41	23年1か月
女性	0	1	0	1	2	5	9	16年7か月
計	0	1	0	2	8	39	50	19年9か月

(エ)長期入院等状況

状況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

(オ)通所方法状況

自力	0
保護者送迎	5
送迎バス	5
その他	40
計	50

(カ)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23
平均日数	21	21	22	20	20	21	22	21	21	20	20	21

(キ)入退所 退所者：2名(男性48歳・中区 死去)

(男性51歳・鶴見区 他事業所へ移行)

②支援状況

自動車部品の受注作業やアルミ缶リサイクル作業を実施した。日中活動として年齢に合わせた運動メニューに組み込んでいる。新型コロナウイルスに関する取扱いが緩和されたため、通所利用者対象の宿泊レクリエーションを再開した。

(2) 施設入所支援(定員 40 名・現員 40 名)

①利用者概況(令和 6 年 3 月 31 日現在)

(7) 障害支援区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	0	1	21	22
	女	0	0	0	0	0	1	5	6
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	0	1	3	4
	女	0	0	0	0	1	1	2	4
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	男	0	0	0	0	0	3	25	28
	女	0	0	0	0	1	3	8	12

(イ) 年齢別状況

年齢	～19 歳	20～29	30～39	40～49	50 歳～	計	平均
男性	0	0	1	13	14	28	49 歳 7 か月
女性	0	0	2	5	5	12	47 歳 0 か月
計	0	0	3	18	19	40	48 歳 4 か月

(ウ) 利用期間状況

期間	～1 年	1～3	3～5	5～10	10～15	15 年～	計	平均期間
男性	1	1	0	4	1	21	28	21 年 6 か月
女性	0	1	2	2	1	6	12	16 年 4 か月
計	1	2	2	6	2	27	40	20 年 1 か月

(エ) 長期入院等状況

状 況	人数
1 か月以上 3 か月未満の継続入院	0
3 か月以上の継続入院	0
1 か月以上 3 か月未満の継続帰宅	0
3 か月以上の継続帰宅	0

(オ) 入退所 入所者：1 名(男性 50 歳・神奈川区)

退所者：1 名(男性 48 歳・中区 死去)

②短期入所事業(定数：3 名)

(7) 利用状況(宿泊延べ日数)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
76	76	77	62	65	72	71	75	64	56	68	79	841

(イ) 障害程度区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	1	0	7	29	37
女	0	0	0	0	2	2	4

(ウ) 年齢別状況(実数)

	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40 歳～	合計
男	0	12	14	11	37
女	0	0	4	0	4

③日中一時支援事業(定数：2 名) 利用者数：3 人 利用実績：13 日

④支援および運営状況

医療面では近隣の東山田クリニックと連携して訪問診療を継続した。協力医療機関である小林クリニックの協力を得て新型コロナウイルスワクチン接種を法人本部で実施した。インフルエンザ予防接種は相和会に依頼して秋の健康診断時に実施した。余暇活動については、新型コロナウイルスに関する取扱いの変更もあり、休日や平日の夕食を含む外出、宿泊での活動を再開した。

(3) 新型コロナウイルス感染状況

生活介護事業・施設入所支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
職員	1	0	0	0	2	0	1	1	2	0	0	0

3 苦情解決事業

施設入所支援と生活介護事業の利用者ご家族より横浜市福祉調整委員会へ以下の3点についてレジデンスに文書にて報告して欲しいと令和5年1月30日に連絡が入る。

- ① 自発的な排泄の支援について
- ② 給食提供時のビニール片混入について
- ③ 食事の支援方法について

横浜市福祉調整委員会からの連絡を受け、2月9日にご家族へ文書にて返答したが、内容が納得出来ないとのことで、3月15日にご家族より苦情の申立てがあった。4月17日に福祉調整委員会より申立てに関する調査項目への回答依頼があり、4月24日に回答書を提出。4月28日に福祉調整委員による聞き取り調査を受ける。6月5日に申立人への調査結果と調査結果に基づく申入れ(依頼)を受取る。福祉調整委員会からの申入れ内容も含めて、7月より毎月ご家族との定期的な面談を実施している。8月9日に2か月後の確認で回答書を提出。その後、ご家族より市障害施設サービス課、障害施策推進課(虐待防止センター)へ連絡が入り、9月6日家族同席での聞き取り調査を受ける。その際に新たに2件の虐待案件に関する申立てがあり、市より関係職員への聞き取り調査を実施し、報告するよう指示を受ける。担当係長とサービス管理責任者にて関係職員5名への聞き取りを行い、9月21日に報告書を横浜市へ提出した。

4 虐待事案

上記の苦情解決事業報告の通り、9月6日に横浜市障害施設サービス課、障害施策推進課(障害者虐待防止センター)がレジデンスに対する聞き取り調査を実施。聞き取りには妹が同席し母は電話での参加となった。その際、ご家族から7月15日の対応について虐待事案ではないかと申し出があり、横浜市より関係職員への聞き取り調査の実施と報告の指示を受け、関係職員5名の聞き取りを実施、9月21日に市に報告書を提出した。

令和6年2月19日に市障害施策推進課共生社会等推進担当者から「今回の事案において4件を虐待として判断した。内容は、身体的虐待2件・心理的虐待1件・放棄放任1件である。身体的虐待は、施設対応と食事での対応を虐待と判断した。心理的虐待は飲み物を提供する際の『飲まないのならもうあげないよ』といった言葉掛けを虐待判断とした。放棄放任は、夜間帯における、尿失禁時に着替え等の対応しなかった事案を虐待判断とした。」との連絡が入る。横浜市の指示を受け、3月5日に「虐待事案の調査内容・再発防止策等報告書」を横浜市健康福祉局障害施設サービス課に提出した。3月19日に管理者・サービス管理責任者が市からのヒアリングを受け、状況の報告と今後の対応について説明した。

施設支援3課

「ポルト能見台(ナビス氷取沢)」

1 事業概況

生活介護事業(定員60名)、短期入所事業(定員1名)、日中一時支援事業(定員2名)の障害福祉サービスを提供した。生活介護事業の利用者は合計66名であった。「ポルト能見台」は施設長(管理者・サービス管理責任者兼務)、係長(サービス管理責任者)、看護師(非常勤)、管理栄養士(正職員)を配置した。支援体制は2エリア(各エリア2グループ)に分

け、各グループに支援員(正職員2名・非常勤2～4名)を配置した。4月から新規利用者1名(新卒・女性)を受け入れた。「ナビス氷取沢」は係長、支援員(正規2名・非常勤4名)を配置した。新型コロナウイルス感染予防等を徹底したが、感染者が複数発生したため6月26日～6月30日まで「ポルト能見台」のサービス提供を休止した。

2 事業実績

(1)生活介護事業(定員60名・現員66名 ポルト能見台50名 ナビス氷取沢16名)

①利用者概況(令和6年3月31日現在)

(7)障害程度区分状況(ポルト能見台)

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	3	3	16	22
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	3	7	13	23
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	8	11	29	48
	女	0	0	0	0	0	0	2	2

障害程度区分状況(ナビス氷取沢)

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	0	2	2	4
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	2	2	3	7
	女	0	0	0	0	1	0	0	1
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	3	6	5	14
	女	0	0	0	0	1	0	1	2

(イ)年齢別状況(ポルト能見台)

	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男	0	6	16	15	11	48	41歳0ヶ月
女	0	1	1	0	0	2	27歳0ヶ月
計	0	7	17	15	11	50	40歳5ヶ月

年齢別状況(ナビス氷取沢)

	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男	0	8	4	2	0	14	30歳11ヶ月
女	0	0	1	0	1	2	40歳6ヶ月
計	0	8	5	2	1	16	32歳2か月

(f) 利用期間状況(ポルト能見台)

年	～1年	1～3	3～5	5～10	10～15	15年～	計	平均期間
男	0	2	1	3	5	37	48	16年11ヶ月
女	1	0	0	0	0	1	2	8年5ヶ月
計	1	2	1	3	5	38	50	16年7ヶ月

利用期間状況(ナビス氷取沢)

	～1年	1～3	3～5	5～10	10～15	15年～	計	平均期間
男	0	1	2	11	0	0	14	5年5ヶ月
女	0	0	0	2	0	0	2	5年7ヶ月
計	0	1	2	13	0	0	16	5年5ヶ月

(エ) 長期入院等状況(ポルト能見台)

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅者	0

長期入院等状況(ナビス氷取沢)

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(オ) 利用方法状況(ポルト能見台)

自 力	7
保護者送迎	23
送迎バス	9
その他	11
計	50

利用方法状況(ナビス氷取沢)

自 力	6
保護者送迎	7
送迎バス	0
その他	3
計	16

(カ) 利用日数状況(ポルト能見台)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要通所日数	20	20	22	20	18	20	21	20	20	18	19	20	238
平均日数	18.6	17.9	15.7	18.1	16.7	18.4	19.7	18.5	18.1	16.5	17.3	18.3	17.8

利用日数状況(ナビス氷取沢)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要通所日数	20	20	22	20	18	20	21	20	20	18	19	20	238
平均日数	18.1	16.9	19.4	14.7	15.6	17.5	18.7	18.4	18.0	16.4	17.1	17.9	17.4

(キ) 入退所状況

ポルト能見台：入所 18歳(女性) R5.4.1 港南区 港南台ひの特別支援学校(新卒)

退所 35歳(男性) R5.4.28 港南区 施設入所

ナビス氷取沢：入退所 なし

(2) 短期入所事業(定数：1名)

① 利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22	18	18	5	20	20	16	22	15	11	20	14	201

② 障害程度区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	2	5	11	18
女	0	0	0	0	0	1	1

③ 年齢別状況(実数)

	～19歳	20～29	30～39	40歳～	合計
男	0	8	7	3	18
女	0	0	1	0	1

(3) 日中一時支援事業(定数：2名) 利用者数 12人 利用実績 29.0日

3 支援および運営状況

(1) 支援方針

個別支援計画を策定し半期ごとに支援内容の確認と見直しを行った。支援計画の説明は郵送や電話で実施するなどの配慮をした。利用者を取りまく家族や地域資源、医療機関との協力・連携に務めた。

(2) 日中支援

利用者の特性に応じた作業環境や日課を提供し、受注作業(部品組立て・梱包など)を中心に自立的に活動ができるよう支援した。金沢区土木事務所からの公園清掃委託業務は継続した。

(3) 余暇支援

新型コロナウイルス感染予防のため平日夕方の余暇活動(カラオケ・プール)、日帰りレクを9グループに分けてそれぞれ実施した。

(4) 短期入所・日中一時支援サービス

サービス提供日以外の希望に対しては入所事業所の利用を勧奨した。短期入所の利用実績は前年度より減少し、ほとんどが定期利用だった。日中一時支援の利用実績は毎朝利用が不要になったため前年度より減少した。

(5) 地域生活支援

グループホーム「ハウスヒルサイド」「ハウスJOY」「ハウスノア」「ハウスオーク」への車輛送迎を行った。通所途上の付き添いや定期的な状況把握を行った。家庭生活や週末及び通所の移動に困難をきたしている利用者と家族に対して入所事業所の短期サービス、移動支援サービスの利用調整を行った。

(6) 運営関係(教育・学生実習・啓発活動等)

日常業務における現任訓練、嘱託医や臨床心理士による専門研修、新任研修、外部派遣研修を行った。一部の研修は対面で実施した。支援学校高等部生徒(3名)、福祉系大学生(2名)を受け入れた。インターンシップ(疑似体験・8名)を受け入れた。

(7) 新型コロナウイルス感染状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	0	17	5	0	0	0	0	0	0	0	0
職員	0	1	10	4	0	1	0	0	0	0	0	0

3 苦情解決事業および身体拘束・虐待事案

1月9日、利用者Bさんが金沢地域活動ホーム「りんごの森」シートステイ中の入浴時、「りんごの森」職員が両腕と右膝に痣があることを確認し、家族に連絡したところ、状況から12月14日のポルト能見台での対応時にできた痣と推定された。

その後、ご両親が来所されエリア係長、職員とで面談。「りんごの森」での指摘および以前から短期入所利用明けに本人の腕や足にあざを作ってくるが多かったことについて苦情があり、今後についてどの様に考えているのかという申し入れがあり、謝罪するとともに、対応者へ情報の聞き取り、支援の見直しについて再検討を行うこととした。

計画相談事業所より金沢区および横浜市健康福祉局に身体拘束についての通報がされ、金沢区保健福祉センター、計画相談事業所、横浜市障害サービス課からヒアリングがあった。ヒアリングでは、12月14日不安定な様子でポルト能見台に来所したBさんがADL室に向かおうとしたため静止したが興奮状態が続いたため、後頭部や手足の打撲での怪我が無い様に複数の職員で手足を押さえて毛布に乗せて、担架の様に4角を職員が持ち本人スペース(更衣室)へ誘導して落ちつくまで30分以上の施錠対応を行ったとの対応経過の説明を行った。

2月16日横浜市障害サービス課から、安全に配慮した対応とは言え、自由に動けない対応は身体拘束にあたること。また更衣室での施錠対応が2回目となり、予測できた事

から事前に同意書の取り交わしと、身体拘束に関わる様式に必要な記録が整えられていないことから、「身体拘束廃止・適正化違反状態」とであると指摘される。

2月8日に両親と面談し経過報告と謝罪を行い、興奮状態にならなくて済む支援に取り組む旨を説明し、家族の要望を取り入れた行動改善計画を作成し、2月29日に家族から同意してもらった。

3月11日に横浜市障害サービス課から、更衣室での施設対応が3要件の一時性とは認められず「身体的虐待」と認定される。再発防止策等報告書を提出し、4月30日に聞き取りのため横浜市障害サービス課へ訪問。家族には行動改善支援の経過報告を加えて4月24日に説明した。

共同生活援助事業（南部方面グループホーム・4ホーム）

1 事業概況

課長(管理者兼サービス管理責任者)、主任、支援員(正職員及び非常勤)を配置した。日中活動は入居者全員が「ポルト能見台」を利用した。

2 事業実績

(1)利用者概況(令和6年3月31日現在)

事業所名	定数	障害支援区分						性別		年 齢			
		1	2	3	4	5	6	男	女	20～	30～	40～	50～
ヒルサイド	5	0	0	0	1	2	2	5	0	0	0	1	4
JOY	5	0	0	0	0	2	3	5	0	0	0	2	3
ノア	5	0	0	0	1	0	4	5	0	0	2	0	3
オーク	5	0	0	0	2	0	3	5	0	0	1	3	1
合 計	20	0	0	0	4	4	12	20	0	0	3	6	11

3 支援および運営状況

新型コロナウイルス感染予防のため利用者の活動時間を分散させ、換気や消毒等の基本的な対策を継続した。保護者の高齢化等家庭状況の変化に伴う週末利用に対応できるよう支援体制を整えた。6月にポルト能見台およびグループホームで新型コロナウイルスのクラスターが発生し、緊急体制を組んで対処した。

4 新型コロナウイルス感染状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	0	12	0	0	0	0	0	0	2	0	0
職 員	0	0	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0

5 苦情解決事業 なし

施設支援4課

専任次長が「リンク」「まるん(YOU)」の2事業所を掌握し、各事業所には係長、主任等を配置して施設サービスを提供した。

「リンク」

1 事業概況

日中活動は受注活動を実施した。余暇活動は日帰りレクリエーションと小グループによる外食支援を下半期から実施した。

2 利用実績

(1) 生活介護事業(定員 20 名・現員 21 名)

①利用者概況(令和 6 年 3 月 31 日現在)

(7)障害支援区分状況

障害支援区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	1	5	1	7
	女	0	0	0	0	1	0	0	1
療育手帳 B1	男	0	0	0	1	4	1	1	7
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	2	1	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (身体 2 級)	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	1	6	10	3	20
	女	0	0	0	0	1	0	0	1

(イ)年齢別状況

	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50 歳～	計	平均年齢
男性	0	1	3	5	11	20	49 歳 0 ヶ月
女性	0	0	0	1	0	1	40 歳 7 ヶ月
計	0	1	3	6	11	21	48 歳 7 ヶ月

(ウ)利用期間状況

	～1 年	1～3 年	3～5 年	5～10 年	10～15 年	15 年～	計	平均入所期間
男	0	1	2	1	16	0	20	9 年 8 ヶ月
女	0	0	1	0	0	0	1	4 年 4 ヶ月
計	0	1	3	1	16	0	21	9 年 5 ヶ月

(エ)長期入院等状況

状 況	人 数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(オ)利用方法状況

自 力	12
保護者送迎	0
送迎バス	1
そ の 他	8
計	21

(カ)利用日数状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
要通所日数	20	20	22	20	18	20	21	20	20	18	19	20
平均通所日数	17.1	17.8	19.7	17.7	16.0	17.9	20.1	18.9	17.7	17.1	18.0	19.1

(キ)入所状況

退所：49歳(男性) R5.10.19 保土ヶ谷区 理由：本人から利用終了の申し出

3 支援状況

(1)日中活動

フィルター加工、文房具類組立て・包装、プラスチック製品のシール貼り、建材資材の組み立て、自動車部品の組立、切手台紙貼り、コーヒーのドリップパック詰め等の受注作業を実施した。

(2)生活支援

ガイドヘルパーと支援方法について緊密に連携した。新型コロナウイルスのワクチン接種を実施した。

(3) 新型コロナウイルス感染状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

4 苦情解決事業 なし

「まろんワークス」

1 事業概況

受注作業や清掃作業を実施した。余暇活動は日帰りレクリエーションを実施した。

2 事業実績

(1)生活介護事業（定員 24 名・現員 24 名）

①利用者概況(令和 6 年 3 月 31 日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害支援区分	非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A 1	男	0	0	0	0	0	5	5
	女	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 A 2	男	0	0	0	0	2	7	14
	女	0	0	0	0	0	1	2
療育手帳 B 1	男	0	0	0	1	0	1	2
	女	0	0	0	0	1	0	1
療育手帳 B 2	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	1	2	7	21
	女	0	0	0	0	1	1	3

(イ)年齢別状

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	0	2	8	4	7	21	42歳8か月
女性	0	0	0	0	3	3	53歳7か月
計	0	2	8	4	10	24	43歳11か月

(ウ)利用期間状況

『まろんワークス』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	0	1	1	2	7	11	17年2ヶ月
女	0	0	0	0	0	2	2	22年0ヶ月
計	0	0	1	1	2	9	13	17年3ヶ月

『YOU』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	1	0	0	2	7	10	18年2ヶ月
女	0	0	0	0	0	1	1	22年9ヶ月
計	0	1	0	0	2	8	11	18年8ヶ月

(エ)長期入院等状況

状 況	人 数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(オ)利用方法状況

自 力	9
保護者送迎	5
送迎バス	2
そ の 他	8
計	24

(カ)利用日数状況

『まろんワークス』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	20	20	22	20	18	20	21	20	20	18	19	20
平均通所日数	19.6	19.5	21.8	18.8	17.3	19.8	20.9	19.9	16.2	17	17.5	18.4

『YOU』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	20	20	22	20	18	20	21	20	20	18	19	20
平均通所日数	17.3	18.3	20.5	19.1	16.1	19.0	20.2	19.1	17.9	15.2	16.5	18.1

(キ)入退所状況 なし

(2)日中一時支援事業(定数：2名) 利用実績：のべ51日 実数2人

3 支援状況

(1)日中活動

受注作業として、情報誌のポスティング、クリーニング店のハンガーリサイクル、自動車部品組立て、玩具のパッキング、区役所地域振興課からの封入作業等を行った。クリーンタウン横浜事業センターの清掃作業を継続した。

(2)生活支援

感染予防のため集団による外出活動は控えテイクアウトや出前等を取り入れた。新型コロナウイルスのワクチン接種を実施した。

(3)新型コロナウイルス感染状況

『まろんワークス』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0	0	0
職員	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0

『YOU』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 苦情解決事業 なし

地域支援課

「共同生活援助事業」(北部方面グループホーム・12ホーム)

1 事業概況

1係4ホームずつの3係制とし、統括係長(1名)、係長(3名)と主任を配置した。パートタイム職員による夜間勤務体制を増やし、勤務シフトの整備を行った。新型コロナウイルス感染予防のため研修や会議はオンライン方式で行い、従来の対面形式でも行った。他法人の事業所見学、オンデマンドやオンライン方式の研修参加で職員教育の充実を図った。老朽化および賃貸借期間満了により「ハウスBEE」「ハウスDOUX」は令和6年3月に移転した。移転に際し、利用者の加齢に伴う身体機能の衰えや身体介助の度合いを考慮して居室の場所を決定した。

2 事業実績

(1)利用者概況(令和6年3月31日現在)

事業所名	定数	障害支援区分						性別		年齢				
		1	2	3	4	5	6	男	女	20歳～	30～	40～	50～	60～
ハウスBEE	5	0	0	0	1	1	3	5	0	0	0	1	3	1
ハウスSEA	4	0	0	0	1	3	0	4	0	0	0	0	4	0
ハウスDOUX	5	0	0	0	0	0	5	5	0	0	1	1	3	0
ハウスEEL	5	0	0	0	3	1	1	5	0	0	0	0	5	0
ハウスF	5	0	0	2	3	0	0	5	0	0	0	2	3	0
ハウスG	6	0	0	0	1	0	5	6	0	0	0	1	4	1
ハウスi	5	0	0	0	0	4	1	5	0	0	1	4	0	0
ハウスK	5	0	2	1	2	0	0	5	0	0	3	0	1	1
ハウスLm	5	0	0	0	0	2	3	5	0	0	0	1	4	0
ハウスMuu	5	0	0	0	0	3	2	5	0	0	3	0	2	0
ハウスP	5	0	0	0	0	2	3	5	0	0	2	1	2	0
ハウスQ	5	0	0	0	0	1	4	0	5	0	0	2	3	0
合計	60	0	2	3	11	17	27	55	5	0	10	13	34	3

(2)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ開所日数	343	348	346	353	339	345	335	345	352	346	329	356
平均利用者数	52	50.5	51.8	51.4	50.8	50.8	50.9	51.1	50.9	50.6	50.6	50.5

(入退所状況) 入所:0名 退所:0名

(3)上半期コロナ罹患状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	0	0	4	0	7	0	0	17	0	0	0
職員(非常勤含)	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	0

3 支援および運営状況

12月中旬から1月上旬にかけ延べ17名の利用者がコロナ陽性となり、クラスターを防ぐため、感染者の多い通所先の利用は自粛し、陽性者と陰性者でホーム利用を分けて対応した。陽性者発生時は、ホーム内での棲み分け(ゾーニング)、防護具使用、消毒の徹底などを行い感染拡大防止に努めた。

4 苦情解決事業 なし

「ヘルパーセンターやまびこ」

1 事業概況

管理者、サービス提供責任者(4名)、パートタイム職員(登録ヘルパー・事務員)を配置した。介護給付事業として居宅介護、行動援護、重度訪問介護、地域生活支援事業として移動支援を実施した。

2 事業実績

(1)派遣件数(令和6年3月31日現在)

	移動支援	行動援護	居宅介護	重度訪問介護
登録ヘルパー	54名	43名	51名	4名
利用者数(のべ)	235名	385名	561名	24名
稼働件数	980件	2,008件	26,765件	101件
稼働時間	2,810時間	5,166時間	23,747時間	221時間

(2) 研修事業

- ・知的障害者ガイドヘルパー養成研修
令和6年2月26日～3月15日 受講者：15名
- ・行動援護従業者養成研修
令和5年9月11日～9月13日 受講者：25名

3 サービス状況

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら運営し、移動支援、行動援護のいずれも1件あたりの平均稼働時間が増加した。行動援護の年間稼働時間は1割増加した。居宅介護はヘルパーの登録者数と稼働時間の増加により、年間の稼働件数と稼働実績が3割増加した。グループホーム利用者の帰宅状況の変化により居宅介護の利用需要は増加すると見込まれる。重度訪問介護は稼働実績、利用需要ともに横ばいであった。研修事業は対面方式で実施した。定員を上回る応募があったため、定員を増やして対応した。

4 苦情解決事業 なし

「計画相談支援事業」

1 事業概要

管理者1名、相談支援専門員3名(兼務1名)を配置した。生活介護事業所および施設入所支援事業所の利用者の計画相談支援を行った。

2 事業実績

登録者数：190名(契約終了：4名)
サービス利用支援(計画作成)：168件
継続サービス利用支援(モニタリング報告書作成)：224件
その他(個別支援会議、面談等)：252件

3 支援および運営状況

利用支援(計画作成)、継続サービス利用支援(モニタリング)とともに基本相談として日常的な相談に応じた。電話やメール等の非対面での聞き取りを実施し、可能な限り面談や事業所訪問を行った。集団指導や各区の自立支援協議会に参加した。

4 苦情解決事業 なし

相談支援部

相談課

「横浜市発達障害者支援センター」

1 事業概況

センター長を含めた相談員8名と発達障害者地域支援マネジャー4名を配置し、相談支援、機関コンサルテーション、広報啓発、機関連携等を行った。機関コンサルテーションに収まらない困難ケースに対して、地域支援マネジャーと相談員が役割分担し地域の支援機関と協働する支援が増えた。

2 事業実績(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(1) 相談支援

① 相談件数

(7) 実支援人数：298名(前年度285名)

新規177名(前年度158名) 男性104名・女性73名 市内174名・市外3名

継続 121 名(前年度 127 名)

(イ)のべ件数 2,354 件(前年度 2,046 件)

相談：304 名/1,893 件(前年度 289 名/1,689 件)

調整会議：49 名/131 件(前年度 38 名/97 件)

機関コンサルテーション：330 件(前年度 260 件)

内訳：区福祉保健センター18 件 相談支援事業所 215 件 就労移行・継続支援事業所 20 件 生活介護事業所 31 件 その他福祉サービス事業所 28 件 医療機関 6 件 学校 6 件 その他 6 件

(ウ)年齢 中高生期 7 名 19～39 歳 193 名 40 歳以上 98 名

(2)地域支援マネジャーによる事業所支援

知的障害を伴う自閉症や行動障害を持つ人の支援を行う事業所に対して発達障害者地域支援マネジャーが事業所コンサルテーション等を行った。

①支援件数

(ア)新規受付：16 事業所

(生活介護事業所 10、グループホーム 3、その他 3)

(イ)のべ件数：799 件(前年度 889 件)

生活介護事業所 314 件 相談支援事業所 158 件 その他のサービス事業所 253 件 (成人入所、グループホーム、地域活動支援センター、就労継続事業など)

障害児入所施設 34 件 その他 40 件

(3)機関連携・広報啓発

①地域連携プログラム

各区の 3 機関(区高齢障害支援課、基幹相談支援センター、生活支援センター)との打ち合わせ会議の他に、事例共有や事例検討、区のニーズに合わせた研修実施等を行った。

②関係機関との連絡会議等への参加

横浜市発達障害検討委員会 2 回

件数：107 件(各区 3 機関連絡会議 41 件、各区自立支援協議会 34 件、その他 32 件)

③研修・セミナー

(ア)センター主催または共催：11 回(参加者 322 名)

発達障害相談基礎研修：1 回(59 名)

発達障害相談応用研修：1 回(13 名)

強度行動障害支援力向上研修(基礎)：3 回(173 名)

強度行動障害支援力向上研修(実践)：1 回(51 名)

現場職員のための特性理解研修：1 回(5 名)

支援者ミーティング：4 回(21 名)

(イ)講師依頼：23 件 受講者数 1,070 名

(ウ)企業等への啓発(見学対応を含む)：8 件 38 名

④法人機関誌『マンスリーやまた』編集発行(年 4 回)

3 苦情解決事業 なし

「横浜市学齢後期発達相談室くらす」

1 事業概況

室長を含めて職員 5 名(社会福祉士、臨床心理士、公認心理師)を配置。発達障害のある(疑いを含む)中高生の相談支援を行った。発達障害者支援センター事業および横浜市二次相談支援機関として教育分野を含む関係機関との連携に努めた。新規相談の待機期間は平均 4～5 か月となっている。令和 6 年度から 5 年間の「学齢後期障害児支援業務委託」受託候補者の特定が公募型プロポーザル方式にて行われ、当法人の受託が決定した。

2 事業実績(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(1) 相談支援

① 実支援人数

新規 108 名(前年度 92 名) 男性 72 名 女性 36 名
 継続 176 名(前年度 166 名) 男性 121 名 女性 55 名
 終結 111 名(前年度 105 名)[年齢超過による]

② 年齢構成：実人数

小学生	中1	中2	中3	高1	高2	高3	19歳以上	合計
0名	30名	50名	45名	42名	44名	44名	29名	284名

③ 相談方法 (のべ件数)

相談方法	件数
来所	1,902
訪問	69
電話(インテーク相談以降)	828
報告書作成等	14
合計	2,813

④ 相談対象者 (のべ件数)

対象者	件数
本人	912
家族	1,220
教職員	221
関係機関職員	526
合計	2,879

⑤ 相談内容：のべ件数(主な相談内容を3項目までカウント)

相談内容	件数
家庭での対応	1,525
学校・通所先での対応	1,709
不適応行動への対応	80
対人関係	307
感情コントロール	256
医療機関利用	510
不登校・ひきこもり	75
進路	1,052
退院後の生活	14
制度資源利用	510
放課後・余暇の過ごし方	449
その他	44

(2) グループ活動等

当事者向けグループ活動では、新たな試みとして3回連続講座(隔週実施)を実施した。

① 中高生対象グループ活動 7回(のべ31名参加)

② 保護者勉強会 2回(のべ81名参加)

(3) 機関連携

① ケース会議 17回

② 自立支援協議会・連絡会議等への参加 44件(うち教育関係26件)

③ 外部講師依頼 5件

④ 事業説明訪問・見学対応 6機関

3 苦情解決事業 なし

「横浜日吉就労支援センター」

1 事業概況

センター長を含めて職員6名を配置し、障害者本人、家族、関係機関、企業からの就労相談等を行った。年度当初の人事異動に伴い、継続相談ケースの丁寧な引き継ぎを行い、新規相談は2名体制で相談にあたった。新規相談の約8割は就労しているケースへの定着支援の相談で、求職支援の相談の中ですぐに就職に繋がりにくく就労支援の実施が難しい

ケースに対しては、適切な機関への引き継ぎを行った。

2 事業実績(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(1) 就労相談

① 実支援人数

新規相談：57名(前年度：66名) 事前相談：45名(前年度：39名)

継続相談：195名(前年度：192名)

※継続相談は前年度以前からの登録者と未登録者の合算

② のべ件数：3,057件(前年度2,882件)

来所相談：310件 電話・FAX・E-mail：2,235件 事業主訪問：331件

通所先訪問：2件 その他訪問：30件 カンファレンス：121件 同行：28件

(2) 就労支援

新規就職者：7名(前年度：16名)

離職者：9名(前年度：0名)

(3) 職業評価・職場実習

職業評価実施者：10名(前年度：6名)

職場実習実施件数：6件(前年度：7件)

(4) 職場開拓

企業支援：31社(前年度：40社)

職場開拓・アセスメント：1社(前年度：1社)

(5) 機関連携・ネットワーク構築

自立支援協議会：14回参加

就労支援センター連絡会：6回参加

港北区自立支援協議会就労支援連絡会主催余暇支援“はまりば”：9回実施

3 苦情解決事業 なし

「ワークアシスト」

1 事業概要

管理者、サービス管理責任者、就労支援員、職業指導員、生活指導員、就労定着支援員、訪問型職場適応援助者を配置し、就労移行支援事業、就労定着支援事業、職場適応援助者助成事業を行った。会社見学、職場実習、ハローワーク訪問など施設外での支援実施はコロナ禍以前の状況に戻ってきた。新規利用に繋げるため見学や体験実習を積極的な受け入れ、大学支援関係者との情報交換会の開催などに取り組んだが、利用者の充足には至らなかった。

2 事業実績(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(1) 就労移行支援事業(定員20名・利用者実数16名)

作業エリアでの職業基礎訓練として模擬作業(パソコン操作、名刺の編集印刷等)、職業評価ツール(幕張版ワークサンプル)、受注作業(商品発送準備、PCアダプターの検品、車の部品組立て等)を実施した。社会生活技能の訓練としてグループセッションを実施した。職場体験プログラムとして法人内部署を活用した実習を行った。

① 利用者状況(令和6年3月31日現在)

(ア) 障害程度

障害程度	B1	B2	精1	精2	精3	身3	なし	合計
男性	0	5	0	0	2	2	1	10
女性	0	0	1	1	4	0	0	6
合計	0	5	1	1	6	2	1	16

(イ) 年齢

年齢	～19	20～	30～	40～	合計
男性	0	7	3	0	10
女性	0	4	1	1	6
合計	0	11	4	1	16

(ウ) 入退所者

・新規入所者：7名(男性4名/女3名) 退所者：7名(就職4名/進路変更3名)

②見学・体験実習

①見学：計77名(利用希望者 29名、家族 15名、支援機関 23名、企業 10名)

②体験実習：計18名(利用率 約44% *令和6年度利用開始分含む)

(2)就労定着支援事業(定員20名)

就職後6ヶ月を経過し、就職後3年6か月までの就労者に対し職場訪問や定期面談、生活支援を行った。

①利用者総数15名(男性12名 女性3名) 定着率約93%(前年度85.7%)

②離職状況：1名

20代女性 自己都合(現在は当事業所の就労移行支援を再利用)

(3)職場適応援助者助成金事業(ジョブコーチ)

就職後6ヶ月経過までの就職者に対し、必要に応じて訪問型職場適応援助者助成金事業(ジョブコーチ)を活用して入職前後の雇用調整や職場適応援助を行った(2名)。

3 苦情解決事業 なし

「東山田地域ケアプラザ」

休止中の通所介護事業は横浜市健康福祉局や都筑区と事前協議を行い、デイルームを障害者支援施設「東やまたレジデンス」の生活介護事業で使用する事業転換について了承を得て、都筑区と具体的な話し合いを開始した。地域包括支援センターは年度末に保健師の退職があり欠員となっている。

1. 居宅介護支援事業

ケアプラン作成件数は126件(一月あたり)で今年度の目標件数(132件)に届かなかった。介護予防ケアマネジメントは57件(一月あたり)と目標(35件)を達成した。要介護認定調査の受託件数は年間75件であった。

①契約者数：183名(令和6年3月31日現在)

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	20	37	38	53	20	9	6
比率(%)	10.9	20.2	20.8	29.0	10.9	4.9	3.3

※要支援1、要支援2のプランは受託件数

②要介護認定調査実施件数:75件

2. 介護予防支援事業(令和6年3月31日現在)

契約数は199件と目標(174件)を達成することができた。

契約者数：199件(内委託146件) 内訳：要支援1 52名 要支援2 147名

3. 地域包括支援センター

①相談実績 相談件数：1936件

相談内容内訳

内容	件数	内容	件数
日常生活課題	440	入院・施設入所	106
消費者保護	9	その他の制度・サービス等	37
成年後見制度	40	認知症	147
虐待	88	介護・医療(認知症以外)	164
介護保険	1225	高齢以外の分野	2
介護予防	37	苦情	6
行政サービス	6	ケアマネ相談支援	144
インフォーマルサービス	32	その他	186

援助内容内訳

内容	件数	内容	件数
安否確認・状況把握	600	介護保険・行政サービス申請受付	233
助言	693	他機関との調整	811
情報提供(サービス・施設紹介等)	634	傾聴	218

②介護予防ケアマネジメント業務(令和6年3月31日現在)

今年度の実績は113件で目標(174件)に未達であった。

契約者数：113件(内委託67件)

内訳：要支援1 42名 要支援2 67名 事業対象者 4名

③介護予防普及強化事業

事業名	実施回数・参加者	目的および内容
Men'sポイトレ	20回実施 参加者総数453名	目的：①介護予防②誤嚥防止 内容：オペラ歌手による歌唱指導
朝歩きの会	6回実施 参加者総数43名	目的：①介護予防②転倒防止 内容：陸上選手による歩き方講座
からだ相談会 ※生活支援共催	6回実施 参加者総数184名	目的：①地域連携②総合相談受付③新たな活動の構築 内容：地域の事業所と共催での相談会

④自主事業(包括的・継続的ケア事業)

事業名	実施回数・参加者	目的および内容
ケアマネサロン	8回実施 参加者総数25名	目的：①情報交換②ネットワークの構築 内容：勉強会含むサロンの開催
ケアマネ情報交換会	6回実施 参加者総数56名	目的：①情報交換②ネットワークの構築 内容：勉強会の開催

⑤自主事業(権利擁護事業)

事業名(自主事業)	実施回数・参加者	目的および内容
介護者のつどい 「ほっと茶屋」	12回実施 参加者総数70名	目的：①介護者の仲間づくり②ストレス解消 内容：茶話会、介護に関するミニ講座
すみれが丘 ケアプラデー	10回実施 相談者総数27名	目的：CPから離れたエリアでの相談の受付 内容：相談会

⑥チームオレンジ事業

事業名(自主事業)	実施回数・参加者	目的および内容
キャラバンメイト のつどい	3回実施 参加者総数21名	目的：認知症普及啓発とサポーターの場づくり 内容：企画打ち合わせ
オレンジフラワープロ ジェクトつづきオレンジ ジョーレ	5回実施 参加者総数35名	目的：認知症普及啓発 内容：オレンジの花を花壇に植える取組
山田地区D Dフレンドリー委員会	10回実施 参加者総数110名 (打合せ) 参加者総数300名(祭)	目的：認知症普及啓発と見守りシステムづくり 内容：打ち合わせ・サポーター養成講座の実施・ 地域開催のお祭りで見守りあいアプリの 普及啓発

4 地域活動交流事業

①相談実績 合計74件 (内訳：子育て関係 11件 ・障害関係1件 ・その他62件)

相談内容内訳

内容	件数	内容	件数
日常生活課題	3	その他の制度・サービス等	0
消費者保護	0	認知症	0
成年後見制度	0	介護・医療（認知症以外）	0
虐待	0	子育て・青少年関係	0
介護保険・介護予防	6	障害児・者関係	0
行政サービス	0	苦情	0
インフォーマルサービス	0	その他	66
入院・施設入所	0		

②援助内容内訳

内容	件数	内容	件数
安否確認・状況把握	0	他機関との調整	4
助言	4	傾聴	6
情報提供(サービス・施設紹介等)	2	その他	67

③子育て支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
あそびのおもちゃランド	10回実施 参加者総数168名	目的：未就園児と養育者の仲間づくりと情報提供 内容：ミニイベント、サロンの実施。
わくわくコアラ	10回実施 参加者総数189名	目的：親子の戏び、仲間作り 内容：声楽家・幼稚園教諭等によるリトミック
ぞうさんくらぶ	10回実施 参加者総数194名	目的：未就園児と養育者の仲間づくりと情報提供 内容：サロンの実施。

④障害児者支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
アフリカンダンスくらぶ	11回実施 参加者総数47名	目的：発達障害の子どもと養育者の交流 内容：インストラクターによるアフリカンダンス教室
ステキアート	5回実施 参加者総数36名	目的：発達障害の子どもとの交流と養育者の交流 内容：美術教師によるアート活動
おさんぽカフェin東山田	8回実施 参加者総数94名	目的：障害児・者と地域住民の交流 内容：イベントとカフェ

⑤高齢者支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
みんなであたおう	24回実施 参加者総数232名	目的：①介護予防②顔の見える関係づくり 内容：音楽療法の実施

⑥広報活動

- ・「けあぷら通信」 1回約1,650部発行〈4回〉 情報提供を掲載。
- ・「けあぷら広報紙」 1回約1,650部発行〈12回〉 複数の事業案内を掲載
- ・「事業案内」 1回約1,650部発行〈41事業〉 事業案内を掲載。
- ・「子育て事業のお知らせ」 1回約1,650部発行〈12回〉 子育て事業情報の掲載。
- ・「ケアプラザカレンダー」 1回約80部発行〈12回〉 掲示用事業カレンダー
- ・ホームページ 広報紙の他、自主事業の案内等を掲載(概ね1月に1回更新)

5. 生活支援体制整備事業

自主事業

事業名	実施回数・参加者	内 容
からだ相談会 ※包括と共催	6回実施 参加者総数184名	目的：①地域連携②総合相談受付③新たな活動の構築 内容：地域の事業所と共催での相談会
介護予防ボランティア	10回実施 ボランティア32名	目的：①地域連携②介護予防の普及 内容：地域の事業所と協力し地域活動に赴き介護予防講座を実施
エリア連絡会	4回実施 参加者総数104名	目的：①地域ケアシステムの構築 内容：学習会・意見交換会の実施
歩行測定会	1回実施 参加者総数16名	目的：①地域連携②総合相談受付③新たな活動の構築 内容：地域の事業所と共催での測定会と相談会
URからだ相談会	1回実施 参加者総数7名	目的：①地域連携②総合相談受付③新たな活動の構築 内容：地域の事業所と共催での相談会
人生100年講座	1回実施 参加者総数21名	目的：①地域連携②老後の備え③新たな活動の構築 内容：地域の事業所と共催での講座の実施
ボッチャ体験講座	1回実施 参加者総数25名	目的：①地域連携②介護予防③新たな活動の構築 内容：隣区のケアプラザと共催でボッチャの体験講座を実施
目の健康講座	1回実施 参加者総数46名	目的：①地域連携②介護予防 内容：眼科医による講話と目の健康診断

6. 運営協議会

第1回	令和5年6月24日	対面実施	令和5年度事業計画等
第2回	令和6年3月13日	対面実施	令和5年度事業報告等